

2026 年 1 月 23 日(金)

冬の星座を楽しむ

学校を出て家路に向かう頃、東の空にひときわ大きな黄色の星が見えます。これが**木星**で、そのすぐ上に仲良しの**ふたご座**が横向きになって輝いています。下にあるのが、少し黄色味を帯びた弟の**ポルックス**(明るさ 1.1 等)、上に白く見える兄の**カストル**(1.6 等)です。

ここから右に目をやると、3 つ並んだ星を囲むように鼓の形をした冬の星座の代表格、**オリオン座**が見つかります。鼓形の四隅にある赤い星が**ベテルギウス**(0.0 等～ 1.3 等の変光星)、その対角線上にあるのが白い星の**リゲル**(0.1 等)です。オリオン座から少し範囲を広げて見ると、左に**こいぬ座**の黄色の星**プロキオン**(0.4 等)が、右下には**おおいて座**の青白い星**シリウス**(-1.5 等)が見つかります。このベテルギウス、プロキオン、シリウスを線で繋ぐと、大きな三角形ができますが、これが『冬の大三角形』です。

続いて、天頂に目を向けると、黄色く色の明るい星**カペラ**が見つかります。**ぎょしゃ座**の星で明るさは 0.1 等。さらにオリオン座の右横には、**おうし座**のオレンジ色の星**アルデバラン**(0.9 等)を見つけることができました。ここより高いところには、いくつかの星が集まってできた**すばる**があります。

しかも、23 日(金)の夜は、雪雲も去り、西に目をやると月齢 4.5 の三日月のすぐ左横に**土星**が寄添うように接近する「**合**」をいう現象を観測することができました。双眼鏡で土星を覗くと、はっきりと**リング(環)**も

確認できました。残念ながら、21 日は雲が多くて、太陽の光が地球海や雲、陸地で反射して三日月の影になって

いる部分をほんの**しょう**り照らす「**地球照**(ダ・ヴィンチの輝き Da Vinci glow)」も観察できました。こうして興味深い宵を過ごしました。



23 日 18:30 東の夜空の星座

月と土星(スマホで撮影)

